

シャチ 海の王者



シャチは、広い海に住む生き物の中で、一番強いといわれる動物です。南極の氷の海から、あたたかい海まで、世界中の海でくらしています。体の長さは六メートル、重さは五千キログラムにもなります。黒と白のもよりの大きな体で、時速七十キロメートル近い速さで泳ぎ、自分より大きなクジラや、きょうぼうなサメさえおそうことがあります。そのあまりの強さから、海のギャングとよばれることもあります。

シャチのすごいところは、その頭の良さです。仲間と力を合わせ、作戦を立ててかりをします。――、氷の上で休むアザラシを見つけると、みんなदैっせいに泳いで大きな波を起こし、その波でアザラシを氷からすべり落として、つかまえてしまうのです。

遠くのえものをさがすとき、シャチはちょう音波（人間には聞こえない高い音）を出します。その音がえものに当たってはね返ってくるのを聞き、魚のいる場所やまわりの様子を knows のです。これは空をとぶコウモリが使っているのと同じ、すぐれたしくみなのです。

シャチは、家族をとて大切にする動物でもあります。親子や兄弟がむれになって、一生いっしょにくらします。むれごとに鳴き声の『ことば』がちがっていて、まるで人間の方言のように、自分たちだけのことで話し合っているといわれます。力が強いだけでなく、仲間思いで頭の良いシャチは、まさに『海の王者』なのです。

せんたく(1)

シャチは、どんなむれでくらしていますか？

選んで○をつけましょう。

- ① 一頭だけでくらす
- ② 家族のむれでくらす
- ③ 魚のむれでくらす

せんたく(2)

文しょうの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

- ① たえば
- ② しかし
- ③ けれども

きじゅつ(1)

アザラシをつかまえるとき、何を起こすでしょうか？

きじゅつ(2)

むれごとの鳴き声は、まるで人間の何のようですか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) しゆくだい

(2) のうぎよう

(3) えき

カブトガニ

二億年前からの生きた化石



カブトガニは、丸いかぶとのような大きなこうらと、細い長いしっぽを持つ生き物で、浅い海の底にすんでいます。おどろくことに、カブトガニは二億年も昔から、すがたをほとんど変えずに生きてきました。きょうりゅうがあらわれるよりも前からいたので、『生きた化石』とよばれているのです。

名前に『カニ』とついていますが、カブトガニはカニの仲間ではありません。じつは、カニなら二本あるはずの長いしっぽかくを、カブトガニは持っていないのです。足や口のつくりを調べても、クモやサソリの方にずっと近いことがわかりました。

カブトガニのおどろくべき特ちょうは、血の色です。人間などほにゅう類の血は赤いの、カブトガニの血は青いのです。しかもこの青い血には、目に見えない小さなばいきんを見つけ出す、ふしぎな力があります。――、薬が安全かどうかを調べるのに役立ち、世界中でたくさんの人の命をすくっているのです。

夏の満月の夜になると、カブトガニたちは波打ちぎわに集まってきます。そして、すなの中にたくさんのたまごを産むのです。この光景は、きょうりゅうの時代から二億年もの間、くり返されてきました。カブトガニは、地球の長い歴史を今に伝える生き物なのです。

せんとく(1)

『生きた化石』とよばれるのは、なぜですか？
選んで○をつけましょう。

① きょうりゅうより大きいから

② 血が青いから

③ 大昔からすがたが変わらないから

せんとく(2)

文しょうの()に入る言葉はどれですか？
選んで○をつけましょう。

① そのため

② ところが

③ たとえば

きじゅつ(1)

カブトガニの血は、何色でしょうか？

きじゅつ(2)

夏の満月の夜、何のために集まるのでしょうか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) しゃしん

(2) しょうひん

(3) しま

テッポウエビ

海のスナイパー



テッポウエビは、温かい海の底に住む、四センチほどの小さなエビです。かた方のはさみだけが、体につりあわないほど大きいのが特ちです。このはさみをすごい速さでとじると、水がいきおいよくおし出され、まるで鉄ぼうのように『パチン！』という大きな音が鳴りひびきます。その音でえものを氣ぜつさせて、つかまえることができますのです。

パチンという音のひみつは、はさみをとじた時にできる水中の小さなあわです。このあわがはじけると、そのときの温度は四百度近くにもなります。これは太陽の表面近くとおなじくらいの熱さで、ピカッと小さな光まで出るのです。

この時の音の大きさもけたはずれで、ジェット機のエンジンにも負けないほど大きく、海の中で『一番うるさい生き物』の一つといわれます。あまりに音が大きいので、せんすいかんがこの音をきかいのこしようとまちがえたそうです。

すごい力を持つているテッポウエビですが、実は目がよく見えません。（ ）、たよりになるのが『ハゼ』という魚です。テッポウエビがすなに安全な巣あなをほり、目のよいハゼをそこに住まわせてあげます。ハゼはあぶない時にこの巣あなへにげこむことができ、てきが近づいた時には、ハゼがしっぽをふるわせてテッポウエビにきけんを知らせてくれます。こうしておたがいの足りないところをおぎない合う、海の名コンビなのです。

せんたく(1)

音は、何にたとえられていますか？

選んで○をつけましょう。

- ① ジェット機のエンジン
- ② 車のクラクション
- ③ 人の声

せんたく(2)

文しょうの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

- ① しかし
- ② そこで
- ③ たとえば

きじゅつ(1)

テッポウエビは、何をとじて音を出すでしょうか？

きじゅつ(2)

ハゼは、どのようにきけんを知らせてくれますか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) しょうわ

(2) べんきょう

(3) いた

バシヨウカジキ

海のスプリンター



バシヨウカジキは、あたたかい海を泳ぐ大きな魚です。なんと時速百キロ近くで泳ぐといわれ、『世界でいちばん速く泳ぐ魚』として有名です。大きな特ちょうは、せなかで高くそびえる、ヨットのほのようなせびれです。このせびれが植物の『バシヨウ』の葉ににているので、この名前がつきました。

バシヨウカジキが速く泳げるのは、体の形にひみつがあります。速く泳ぐときは、大きなせびれをせなかにぴたりとたたみ、水のていこうを小さくします。（ ）、するどくがった長い上あごが、水を切りさいて、体を前へおし進めます。むだのない細長い体で、矢のように泳ぐのです。

大きなせびれは、かりのときに大かつやくします。バシヨウカジキは、小魚のむれを見つけるのと、たたんでいたせびれを一気に広げます。大きくなった体で小魚をおどろかせ、にがさないように、せまい所へ追いこむのです。しかも一ぴきではなく、仲間と力を合わせて、みんなで魚のむれをかこむのです。

じつは、バシヨウカジキは成長の速さも、海の魚の中でトップクラスです。生まれたばかりのころは、ほんの数ミリの小さな赤ちゃんで、あの大きなせびれも、長い上あごもまだありません。たった一年で、小学校の子どものせたくくらいになります。泳ぐのも、育つのも、だれよりも速い、それがバシヨウカジキです。

せんたく(1)

バシヨウカジキが速く泳げるのは、なぜですか？
選んで○をつけましょう。

- ① 大きなせびれをたたんでいるから
- ② 体がとても軽いから
- ③ しっぽがとても大きいから

せんたく(2)

文しょうの（ ）に入る言葉はどれですか？
選んで○をつけましょう。

- ① でも
- ② そのうえ
- ③ たとえば

きじゅつ(1)

水を切りさいて体を前へおすのは、どこですか？

きじゅつ(2)

かりのとき、せびれをどうしますか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) ぎんこう

(2) しゃかい

(3) はた

シャチ

せんたく (1) ② (2) ①

きじゅつ (1) 大きな波 (2) 人間の方言。

かん字 (1) 宿題 (2) 農業 (3) 駅

カブトガニ

せんたく (1) ③ (2) ①

きじゅつ (1) 青色 (2) たまごを産むため。

かん字 (1) 写真 (2) 商品 (3) 島

テッポウエビ

せんたく (1) ① (2) ②

きじゅつ (1) 大きなはさみ (2) しっぽをふるわせて知らせてくれる。

かん字 (1) 昭和 (2) 勉強 (3) 板

バショウカジキ

せんたく (1) ① (2) ②

きじゅつ (1) 長い上あご。 (2) 一気に広げる。

かん字 (1) 銀行 (2) 社会 (3) 旗